

2022年度JKA補助事業に係る導入機器の評価について

【令和5(2023)年3月23日(木)15:20～ ニューみくら206会議室】

- 1 参集者 関本所長、伊藤副所長、星野副所長兼管理部長、諏訪副所長兼技術交流部長、坂本機械電子技術部長、宮間材料技術部長、小坂食品技術部長、関口繊維技術支援センター長、松本県南技術支援センター長、諏訪紬織物技術支援センター長、谷窯業技術支援センター長
- 2 導入した機器
 - 走査型電子顕微鏡（機械電子技術部）
 - ア 機種 走査型電子顕微鏡：株式会社日立ハイテク製 SU3800
エネルギー分散型X線分析装置：オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社製 AZtecLive Lite Xplore30
 - イ 購入先 株式会社ローラン
- 3 実施経過
 - 令和4(2022)年 5月23日 銘柄指定委員会開催
 - 7月5日 一般競争入札実施
 - 7月6日 購入契約締結
 - 令和5(2023)年 1月30日 納品、検収
 - 2月13日 支払い
- 4 現在までの使用状況

正副担当2名を配置し、運用を開始した。機器導入から約1ヶ月半で、試験機器の新機能確認やマニュアル作成、機器の活用トレーニングに取り組み、企業からの機器利用や依頼試験等で39件利用した。
- 5 今後予想される波及効果

中小企業単独では導入することが困難な試験機器を整備し、第三者機関・公的機関として試験を実施することにより、自動車・航空宇宙・医療機器関連等の機械金属関連企業などにおける製品開発の活性化や材料・部品の品質向上が図られ、地域企業の更なる受注増、地域経済の継続的発展に繋がることが期待できる。
- 6 総括

県内中小機械金属製造業などのニーズの把握やそれに基づく機器仕様の検討について、本庁工業振興課と産業技術センターが連携して取り組んできた。これにより、交付決定後、速やかに銘柄指定委員会を開催し、機器仕様を決定することができた。機器の納入後、メールマガジンやホームページを活用した広報・周知を行っており、当該機器への問い合わせは増加している。今後、技術講習会や企業からの技術相談など、あらゆる機会を通じて今回導入した機器の周知を積極的に推し進め、十分な活用を図っていくこととする。